



講演概要

近年、小学校5、6年や中学校1、2年の子どもが起こす事件やいじめといった問題が人々の関心を集めています。こうした問題行動はしばしば、当事者である子どもの個人的気質の問題とされてしまう場合が多く見られますが、果たして、今日の子どもの問題行動は、個人的気質のみの問題なのでしょうか。本講演は、脳科学の最新の研究成果を手がかりにして、現行の学校教育の体系と、今の子どもの心理的・生理的な成長・発達との不整合や、今日の教育と学校がどうあるべきかについて、学び、問題を共有し、みなさんと一緒に問い直そうとするものです。

○日時：2009年6月27日(土) 14:00~16:00 入場無料

○会場：早稲田大学小野記念講堂 (早稲田キャンパス27号館 小野梓記念館地下2階)

講演者紹介

安彦 忠彦 (あびこ ただひこ) 氏

早稲田大学教育・総合科学学術院特任教授。

名古屋大学名誉教授。

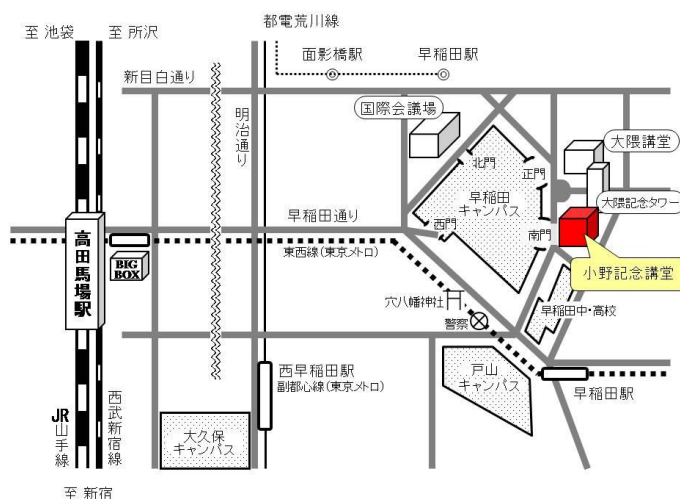
教育学博士。専攻はカリキュラム学。

東京大学教育学部卒業、名古屋大学教育学部教授、同大学教育学部長等を経て現職。

日本カリキュラム学会代表理事、日本教育技術学会理事などを歴任。

2005年より中央教育審議会委員。

『カリキュラム開発で進める学校改革』(明治図書出版)、『学校知の転換〜カリキュラム開発をどう進めるか〜』(ぎょうせい)、『教育課程編成論〜学校は何を学ぶところか』(放送大学教育振興会)など著書多数。



主催：早稲田大学教育総合研究所
共催：早稲田大学教育学部・教職課程
大学院教育学研究科・教職研究科

問い合わせ先：早稲田大学教育総合研究所 (16号館209室)
TEL：03-5286-3838 E-Mail：IASE@list.waseda.jp

脳科学的観点から
学校カリキュラムについて考える